

平成 30 年度予算に係る水道施設整備事業の事前評価について

1. 概要

水道課では、水道施設整備費に係る個々の国庫補助事業のうち 10 億円以上の費用を要することが見込まれる事業に対し、必要性、効率性及び有効性等の観点から総合的に評価するとともに、費用対効果分析を行うことにより事前評価を実施することとしている。

2. 評価の実施時期

平成 29 年度

3. 評価結果

平成 30 年度予算に向けた事前評価として、簡易水道等施設整備事業 2 件及び、水道水源開発等施設整備事業 1 件、合計 3 件について事前評価を行った。

これらの結果は別表のとおりである。

平成30年度予算に係る事前評価結果一覧表

【簡易水道等施設整備事業】

(単位:千円)

都道府県	事業者名	地区名	事業名	工期(年度)		総事業費	便益(B)		費用(C)	B/C	その他の指標による評価	備考
				始	終		総便益	便益の主な根拠				
沖 縄 県	本部町	並里地区ほか	本部町水道事業	30	38	3,336,114	4,971,251	<ul style="list-style-type: none"> ・緩速ろ過池がない場合の需要者の水質改善費用の回避 ・海底送水管がない場合の水の輸送費の回避 ・海底送水管がない場合の水の輸送費の回避 	4,412,873	1.13	<ul style="list-style-type: none"> ・低コストのダクタイル鋳鉄管(NS形E種管)を採用することで材料コストの縮減が可能である。 ・(仮)新笹川浄水場から既設並里浄水場間に布設する導水管と送水管を同時に工事することで掘削断面の減少による土工事コストの縮減が可能である ・健堅～瀬底島ラインを施工後すぐに瀬底島～水納島ラインを同時施工することにより、海底送水管用ポリエチレン管(長尺管)布設船の回航コスト縮減が可能である 	
沖 縄 県	伊是名村	仲田地区	伊是名村簡易水道施設整備事業	30	37	1,229,269	1,315,317	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化による断水被害額の回避 ・復旧工事費の低減額 ・管路修繕による維持管理費の低減 ・漏水損失額の低減 ・施設管理の一元化による委託費の回避 	1,117,424	1.18	特に無し	

